

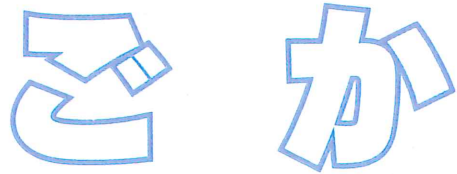


心のふれあい

社協だより

第 59 号

発行 令和4年3月



社会福祉法人 五霞町社会福祉協議会 事務局 五霞町大字江川3201福祉センター「ひばりの里」内 ☎ (0280) 84-0765・80-1165

ホームページ <http://www.goka-syakyo.or.jp>

Eメール info@goka-syakyo.or.jp

Facebook 様々な情報をお届けします

赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました



五霞幼稚園・保育園のみなさま



川妻認定こども園おひさまのみなさま

もくじ

- 1ページ 赤い羽根共同募金 ありがとうございました
- 2・3ページ 赤い羽根共同募金へのたくさんのご協力ありがとうございました
～令和3年度 共同募金実績報告～
五霞町では赤い羽根共同募金がこんな事業に使われます
歳末たすけあい募金助成結果報告
- 4ページ 善意銀行
～ペットボトルキャップ～
- 5ページ 社協会員サービス
ごかフードパントリープロジェクト
地域活動支援センター「太陽の家」
- 6・7ページ 特集 居場所づくりボランティア養成講座開催！
- 8ページ 地域包括支援センター 令和3年度 事業報告



社協だより「ごか」の発行には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

赤い羽根共同募金への たくさんのご協力ありがとうございました！

～令和3年度 共同募金実績報告～

町民の皆様をはじめとして、町内の企業や団体、学校の皆様にもご協力をいただくことができました。厚く御礼申し上げます。

今年はコロナ禍ということもあり、社協職員のみで街頭募金活動を実施させていただきました。多くの方にあたたかいご協力をいただき、深謝申し上げます。また、活動場所をご提供いただいた「道の駅ごか」様「ウエルシア五霞店」様ありがとうございました。

今後も「自分の町をよくするしくみ」として、赤い羽根共同募金運動を展開してまいります。ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金総額 2,855,547円

赤い羽根共同募金…1,963,547円 歳末たすけあい募金…892,000円

(順不同・敬称略)

(1)戸別募金 …1,692,608円

赤い羽根共同募金…………… 964,137円 歳末たすけあい募金…………… 728,471円

(2)街頭募金 …7,491円

(道の駅「ごか」 ウエルシア薬局
五霞支店にて実施)



(3)法人募金 …497,000円

(町内の法人及び事業所様… 297,000円 五霞工業クラブ様 …… 200,000円)

●●● 法人としてご協力いただいた皆様です (敬称略・順不同)

●●●

(株)カワムラ	橋本建設(株)	(有)鈴木工務店	(有)中里電機
玉村造園	(有)かじや商店	きららの杜	(有)森田加工所
(有)鞠子鉄工	(有)稲葉自動車	(株)阪東組	横商(株)
田村電気商会	(有)五霞ガス	(株)中山産業	(株)飯島興産
(株)増田石油	(株)三浦工務店	五霞環境整備	(有)玉木
(株)青木建設	(有)住和会 芝田クリニック	(有)シャリー	はなの郷
カニヤ工業(株)	(株)五霞建設	(有)山下工務店	(株)木村設備
馬場医院	五霞自動車工業	フラワー花暦	金子商事(株)
(有)知久モータース	他8法人及び事業所様		

たくさんのご協力、ありがとうございました。

(4)学校募金 …72,999円

(五霞中学校 五霞東小学校 五霞西小学校)
(五霞幼稚園・保育園 川妻認定こども園おひさま)

(5)職域募金 …281,527円

(農業委員会 茨城むつみ農協五霞支店)
(五霞町シルバー人材センター 五霞町商工会)
(青少年相談員協議会 まちづくり交流センター (道の駅ごか))
(五霞町社会福祉協議会 五霞町役場)

(6)特別募金 …247,690円

(有志のみなさま)

(7)その他

その他…………… 23,273円

赤い羽根自動販売機……………8,197円

募金箱…………… 24,762円

●●● 募金箱の設置にご協力いただきました ●●● (敬称略・順不同)

農産直売所「わだい万菜」、ウエルシア五霞店、茨城むつみ農協五霞支店、株式会社ヨシダ、日本製紙リキッドパッケージプロダクト株式会社、芝田クリニック、五霞町役場、五霞町中央公民館、五霞町B&G海洋センター、福祉センター「ひばりの里」)

五霞町では赤い羽根共同募金がこんな事業に使われます

高齢者の方・障がいを持つ方へ

- ・ 訪問福祉美容
- ・ 布団クリーニング
- ・ 配食サービス
- ・ おちゃ友会 (一人暮らし高齢者の方の食事会)
- ・ 友愛訪問 など



こどもたちへ

- ・ 昔遊びや清掃指導
- グラウンドゴルフなど
- シニアクラブとの交流事業など

その他

- ・ 心配ごと相談事業 (無料法律相談、一般相談)
- ・ ボランティア養成講座
- ・ ふれ愛ベンチ設置事業
- ・ 広報紙の発行
- ・ 町内児童
- ・ 農村公園遊具整備助成事業 など

ボランティア団体・福祉関連団体のみなさんへ

- ・ 活動に対して助成金を交付

歳末たすけあい募金助成 結果報告

民生委員児童委員の協力をいただき、対象となる方にお見舞金として配分しました。

一人暮らし高齢者 …………… 25名
 ねたきり高齢者…………… 9名
 認知症高齢者…………… 3名
 高齢者世帯…………… 3世帯
 在宅重度心身障がい者…………… 21名
 在宅重度心身障がい児…………… 1名

支援を必要とする児童生徒…………… 27名
 母子世帯…………… 8世帯
 父子世帯…………… 2世帯
 支援を必要とする世帯…………… 15世帯
 長期入院患者…………… 6名

善意銀行

あたたかな善意をありがとうございます。いただいた善意は寄付者様のご希望に沿った形で必要とされる方にお渡しさせていただきます。

《金銭寄付》

- ・1,500円（匿名1名）

《物品寄付》

- ・食品（匿名3名） ・衣類（匿名3名） ・毛布、布団（匿名2名）
- ・マスク（匿名1名） ・タオル（匿名1名）
- ・災害備蓄用食品、微粒子汚染物質対応マスク（旬菜デリ様）
- ・ポータブルトイレ（匿名1名） ・エアロバイク1台（伊藤淳美様 八重子様）
- ・使用済み切手、ベルマーク、使用済みテレホンカード、未使用ハガキ（匿名2名）

★今までにいただいた使用済み切手 約7,625枚を茨城県社会福祉協議会へ送付しました。使用済み切手は、茨城県社会福祉協議会が買い取り業者に送付し、その換金額を全額ボランティア基金へ繰り入れ、県内のボランティア団体や市町村社協が実施する事業に活用されます。

《境ロータリークラブ様からおもちの寄付をいただきました》

ご寄付いただいたお成ちは、歳末助け合い見舞配分対象者の皆様へ配布させていただきました。あたたかい善意をありがとうございました。



～ ペットボトルキャップ～

回収のご協力ありがとうございます！

集めたペットボトルキャップは、回収業者にリサイクル資源として売られ、売却益が寄付されます。その寄付金で世界中のワクチン工場でワクチンが発注され、子どもたちへ接種をしています。

令和4年度1月11日現在は、重量756kg、個数にすると325,080個になりました。これまでの総個数は、4,324,930個。総ワクチン数は3,613.2人分です。

今後とも協力のほどよろしくお願い致します。



回収場所：福祉センター「ひばりの里」、五霞町役場玄関自販機そば、中央公民館自販機そば

《日本製紙リキッドパッケージプロダクト株式会社様よりペットボトルキャップをお持ちいただきました！》
たくさんのご協力ありがとうございます

◎社協会員サービス◎

社協会員になっていただいている皆様へ下記のサービスを実施しました。

※お祝いの贈呈には申請が必要となりますので、対象となる方は社協までお問い合わせください。

～新生児おむつの贈呈～

新しく誕生された3人の赤ちゃんに
新生児おむつを贈呈しました。



♡おめでとうございます♡

～米寿のお祝いの贈呈～

今年米寿を迎えた方に花束を贈呈しました。



ごかフードパントリープロジェクトを実施しました

フードパントリーとは

企業や農家、一般家庭等から寄付される食料品を無料でひとり親家庭や生活が苦しい方などへ直接配布する活動のことをいいます。

五霞社協では、生活福祉資金特例貸付申請者の方・児童扶養手当受給世帯の方を対象に寄付を受けた食品等の詰め合わせの無償提供を行い、申請していただいた15世帯35名の方へ配布しました。

今後も引き続き、生活が苦しく食品の提供を受けたい方に対しては個別に提供させていただきます。詳しくは社協までお問い合わせください。

(担当：倉持・坂内)



地域活動支援センター「太陽の家」

私たちが活動している一日の流れをご紹介します！

- ～9：30 来所
- 9：30～ 朝の会 ラジオ体操 ウォーキング
- 10：40～ 作業（途中15分の休憩を含む）
- 12：00～ 昼食 昼休み
- 13：00～ 作業（途中15分の休憩を含む）
- 15：00～ 連絡帳記入 カフェタイム
- 15：40～ 掃除 帰りの会
- 16：00～ 帰り



作業以外にも地域の奉仕活動や年間を通して季節の行事（クリスマス会 遠足 運動会） 誕生会 お楽しみ会等も行っています。

見学は随時受け付けています。

居場所づくりボランティア養成講座開催！

令和3年11月から5回にわたり、五霞ふれあいセンターにて居場所づくりボランティア養成講座を開催し、延べ113名の方にご参加いただきました。

第1回

11月11日

『地域からの孤立を防ぐ～支え合える居場所づくりの必要性～』

講師：さわやか福祉財団理事 鶴山芳子様



なぜ今居場所が必要なのか、助け合える地域づくりに何ができるのか、社会背景や全国の事例の紹介を交えながら具体的にわかりやすくお話していただきました。

第2回

11月17日

『実践者の方から学ぶ～支え合える居場所づくり～』

講師：たまり場たろう主宰・筑西市第1層生活支援コーディネーター 小松崎登美子様

"無理なく自然体で居場所をつくっていくこと"居場所は誰かにサービスをしてあげる場ではない。誰もがフラットな関係"など、実践されている活動を力強くお話していただきました。



第3回

11月25日

『その人の心に寄り添う～グリーフケアから学ぶ～』

講師：一般社団法人日本グリーフ専門士協会代表 井手敏郎様
五霞町社協 指定居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 橋本美千子



前半は橋本主任介護支援専門員より、介護保険に関する五霞町の現状と、一人の方の生活には公的なサービスである介護保険だけではなく住民の方1人ひとりの方の力助け合える地域づくりが必要であることなどをお話しました。



後半は井手敏郎様より、グリーフケアについてお話いただきました。グリーフとは「喪失の悲嘆と反応」のことをいいます。人の悲しみに触れるときに「敬語敬聴」が大切であることなどを参加者同士のロールプレイを交えながらお話いただきました。

第4回

12月2日

『支え合える地域とは 一生活支援の実際を通して一』

講師：五霞町地域包括支援センター 山口仁美
五霞町生活支援コーディネーター 篠崎早苗

前半は篠崎コーディネーターより五霞町の世帯構成や人口減少、実際に地域にある福祉課題、だからこそ居場所で乗り越えていく等のお話をさせていただきました。

後半は山口より認知症サポーター養成講座の講義で、認知症について学んでいただきました。



第5回

12月9日

『居場所づくりの企画・運営のポイント』 『グループワーク～支え合える居場所をつくろう～』 『修了式』

冒頭はボランティア担当の高原より、居場所づくりにおいて必要な要素である「人・場所（拠点）・時間・財源・感染症対策」などについてお話しをさせていただきました。

最終日であるこの回では、参加者のみなさんに、前半『地域の心配ごと・気になること』・後半『どんな居場所があるといいか・つくりたいか』というテーマでグループワークをやっていただきました。それぞれ付箋紙に書いたものを模造紙に貼りながら話し合い、発表を行いました。

最後は修了式を行い参加者全員で写真を撮りました。



《今こそ居場所づくり!》

コロナによる参加・外出の機会の減少、高齢化率35%、高齢者一人暮らしの方が去年と比べて2倍の約430世帯へ増加、死亡数100人前後、出生数20人前後、車が運転できなくなったら、買い物難民、空き家、認知症近所づきあいが無い、若者がいない、ゴミ出し問題…前半のグループワークで「なんだか暗い話ばかりになっちゃいました」「自分にも差し迫っている問題」と

参加者の方が話していました。そのあとの後半のグループワークでは「誰でもいつでも自由に気軽に来られる」「高齢者も認知症の人も障がいを持つ人も若者も世代を超えて集まれる」「おしゃべりができる」「趣味や体操ができる」「心の交流ができる」「助け合える」「気をつかわない」「ほっとする」など、たくさんの「居場所」の話ができました。

参加者の方から多くの地域課題が出てきましたが、自分が自分らしくいられる多様な居場所づくりこそ解決策の一つになりえるのではないのでしょうか。そのためには住民の皆さんの力が必要です。そして、行政組合・シニアクラブ・ボランティア・医療福祉関係団体・行政・社協など、オール五霞で取り組んでいく必要があります。

今後も、社協は居場所づくりに向けて住民の皆さんを応援していきます。講座等も企画していきますので、ぜひご参加ください。この内容に興味があるという方のお問い合わせもお待ちしております！



この講座には赤い羽根共同募金が使われています。

地域包括支援センター 令和3年度 事業報告

居場所づくりボランティア養成講座

★全5回の内、第4回目を地域包括支援センターで担当。認知症サポーター養成講座も併せて開催しました。



★10年先を見据え「今から何か始めたい」と活発な意見交換がなされました。有志の皆様で新たな住民ボランティアによる「よってけ舎」が発足しました。



五霞町地域支え合い協議体 「ひだまり」

★住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、住民同士が助け合う地域作りについての話し合いを2か月に1回開催中です。



元気はつらつ倶楽部

★10月体組成計測、11月は近隣をウォーキング。12月からはシルバーリハビリ体操を月1回・時間短縮し開催中です。

★コロナ前よりも出席率が高く、皆様の健康に対する意識の高さがうかがえます。



五霞ストレッチ教室

★感染対策をしっかりと行い、理学療法士・作業療法士の指導のもと、生活に必要なトレーニング方法を学びました。



お問い合わせ 地域包括支援センター ☎84-0765